

# 山の ダイゴミ 展

## 宮崎編

木材の流通は複雑でユーザーがサプライヤーの実情を詳細に把握することが難しくなっています。そのため伐採から製品になるまでの間に、規格外であったり、使いにくい材であるという理由で、およそ9割が流通過程で未利用材として粉砕、

バイオマスなどとして利用されています。山のダイゴミ展は、宮崎の木に関わる事業者と未利用材を面白いデザイナーや宮崎に滞在した武蔵野美術大学の学生がプロトタイピングと対話を公開で行い、今後の展開を検討するための場です。

**展示期間** 参加費無料

**トークセッション** 参加費無料 定員 50 名

2/11 | 土 | - 17 | 金 |

2/12 | 日 |

[開場時間] 10:00 ~ 17:00

[開催時間] 13:00 ~ 16:30 (終了予定・延長有)

[場所] 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス 2F

[場所] 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス 5F

トークセッション  
参加申込フォームは  
こちら→



# プログラム

## ■ 展示

2023年2月11日(土)～2月17日(金) 10:00～17:00

- ①「武蔵野美術大学学生による宮崎滞在と対話」のパネル展示
- ②「山のもったいない材」現物展示
- ③「山のダイゴミプロジェクト」モック展示

## ■ トークセッション

2023年2月12日(日) 13:00～16:30

【はじめに】 13:00～13:20 (20分) 登壇:武蔵野美術大学 造形構想学部 若杉浩一教授

### 「地域にある価値と新しいデザインの試み」

長く続いた地域から都市部が搾取するという関係によって、地域では売上など見える価値の大小が基準となり、見えない価値を感じることができなくなってしまいました。そのため、これからの時代に必要な社会を考える共同体を作っていく、意識変革のデザインについて若杉教授にお話しいただきます。

【第一部】 13:20～14:10 (50分) 登壇:武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科学生

### 「武蔵野美術大学学生による宮崎滞在と対話の記録」

宮崎県に1か月間滞在した学生は、木に関わる仕事をする人たちとの、果てしない数の対話の繰り返しから、見えてきた本質の一部分を掴みました。そこにどのような過程があり、自分自身と向き合い他者に自己を開示していったのか？そして今回どのようにアウトプットするのか？対話の記録を学生たちが報告します。

【第二部】 14:20～15:40 (80分) 登壇:宮崎県地域プレイヤー、デザイナー

### 「本当にそれは山のダイゴミなのか。」

私たちが普段利用している木材は山に生えている樹のほんの一部です。これまで、根や樹の先端、流通の過程で出てくる端材は価値がないものとされてきました。第二部では私たちが、規格外や流通に乗らない不揃いな資源について、活用する方法を検討しました。その結果について宮崎の地域プレイヤーとデザイナーがディスカッションを行います。

【第三部】 15:50～16:30 (40分) 参加者:会場にいる皆様

### 「40年後の山にできることを考える公開ディスカッション」

杉を植えてから柱とする材が取れる大きさになるまでに、およそ40年かかります。40年後の未来に私たちができることは何なのでしょう？会場にご来場いただいた皆様とともにディスカッションを行います。

## ■ 会場

武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス 東京都新宿区市ヶ谷田町1-4

【アクセス】

- JR中央・総武線「市ヶ谷」駅より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅、都営新宿線「市ヶ谷」駅4番出口より徒歩3分

市ヶ谷キャンパス



## ■ お問い合わせ先

特定非営利活動法人 宮崎文化本舗

tel:0985-60-3911 / mail:lapuratsuya@gmail.com

■ 参加希望者は事前登録が必要です。  
※先着順で定員になり次第、締切らせていただきます。  
トークセッション申し込みはこちら。

